



福井大学 (福井県)



充実した個別指導と学生のニーズに即したカリキュラムの作成

◇大学紹介

○福井大学の概要

本学は、教育学部、医学部、工学部、国際地域学部の4学部、及び、大学院教育学研究科、大学院医学系研究科、大学院工学研究科、大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科（以下、教職大学院）の4研究科からなる。教員研修留学生在が所属する教育学研究科、及び教職大学院には、それぞれ学校教育専攻、教職開発専攻がある。

福井県は、日本のほぼ中央に位置し、美しい自然と豊かな文化遺産に恵まれたところである。日本海に面し、古くは大陸諸国と都を結ぶ玄関口として重要な位置を占め、その長い歴史と伝統、そして四季折々の変化に富んだ美しい自然は、日本の典型的な風情を漂わせている。

○国際交流の実績

・留学生数

留学生在籍数（2018年10月現在）：
236名（25か国・地域）

協定数（2018年10月現在）：
83（大学間）、62（部局間）

・受入実績

教員研修留学生の受入実績：
2018年度：3名
2017年度：4名
2016年度：4名

◇教員研修コースの概要・特色

○研修コースの特色

- ・指導教員が留学生にあったカリキュラムを作成し、個別指導を充実させている。

○受入定員 10人

○研修コースの概要

・日本語教育

-福井大学国際センター日本語研修コース

期間：2019年10月～2020年3月

概要：6ヶ月間の日本語集中授業を行うコース。
日本文化体験は1学期に8回実施し、生花、書道、陶芸などを体験学習する。

対象：教員研修留学生全員

-留学生向け日本語科目

期間：2020年4月～2021年3月

対象：希望者のみ

・専門教育

-期間：2020年4月～2021年3月

-補講：毎週、指導教員による個人指導を受ける。

・見学・地域交流等の参加型科目

-本学の教育学部附属義務教育学校で教育実習見学

-年に一度、京都見学旅行を実施（12月頃）

-地方自治体や民間団体主催の各種見学会等の案内・実施。

・日本人学生との共修の機会

-教職大学院では週に一度、教員・日本人学生・

留学生を交えたカンファレンスを行い、教職専門性の開発・発展を支援している。

◇修了生へのフォローアップ

本学では、留学生同窓会をアジアを中心に現在までに15支部設立し、各国支部と連携している。その活動を推進するために、国際センターネットワーク誌「こころねっと」を発行し、帰国留学生と情報交換を行っている。

◇宿 舎

留学生会館

○宿舎数

- ・単身用 25室
- ・夫婦用 2室
- ・世帯用 2室

○宿舎費

寄宿料月額 11,900円、又は14,200円

管理費月額 3,000円

（別途水道光熱費がかかります）

（インターネット使用の場合別途契約）

○宿舎設備・備品

ユニットバス、トイレ、ミニキッチン、ベッド、机、イス、スタンド、本棚、整理タンス、食器戸棚、食堂テーブル、冷蔵庫、洗濯機、空調機等

○宿舎周辺の生活情報、通学時間

キャンパスまで徒歩7分。周辺に電車の駅や、スーパーマーケット等がある。空室が少ないため、希望者全員が入居できるとは限らない。入居期間は2019年10月～2020年9月の1年間のみ。2020年10月～2021年3月は民間アパートへの入居となる。

◇問合せ先

大学所在地：〒910-8507

福井市文京3-9-1

担当部署：福井大学学務部国際課

TEL：+81-776-27-8406

FAX：+81-776-27-9715

E-mail：gk-iadexchange@ml.u-fukui.ac.jp

大学のホームページ：<https://www.u-fukui.ac.jp/>

大学名： 福井大学(大学番号20)

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

| 受入研究科等名 | 大学院福井大学・奈良女子大学・岐阜聖徳学園大学連合教職開発研究科 | | | | 使用言語 | 受入可能数 | 当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数) |
|---------|----------------------------------|--|-------------------------|---|--------|-------|--|
| コースコード | 教員名 | メールアドレス | 分野 | 研修の内容 | | | |
| 20001 | 柳澤昌一教授 | yanagi@f-edu.u-fukui.ac.jp | 教職開発 生涯学習学 | <p>福井大学大学院教育学研究科教職開発専攻は、教師のための専門職大学院である。教師が専門性を獲得するためには、教師が実践-省察-再構成のサイクルに身を置き、学校自体を「学びのコミュニティ」に再構築することが重要である。</p> <p>そこで、福井大学では、世界に先駆け「学校拠点方式」を実施している。「学校の抱える課題を、学校で、学校の同僚教師と協働して解決する大学院」をモットーに実践的な教師教育を進めている。学校で生じる課題について、大学教員と当該学校の教員が協働して取組み、そのプロセスを協働省察し実践研究としてまとめ、他大学等の交流の場(ラウンドテーブル)で、内容を深めている。</p> <p>大学教員には様々な専門分野の教員がおり、チームティーチングを行いながら学問の壁を超えて実践研究を積み重ねている。</p> <p>留学生は大学教員とともに学校現場に出かけ、授業研究を進めるとともに学校での実習も経験する。</p> | 英語、日本語 | 5名 | <p>当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該国で小・中・高等で教員歴があること。 ・日本の学校教育にかかわることから、日本語習得済み、もしくは期間中に日本語を習得する意思のあること。 ・帰国後は当該国での教育及び教師教育に貢献する意思のあること。 ・帰国後、当該国と日本の教師教育研究の交流に尽力する意思のあること。 <p>(エジプト1名、インドネシア1名、コロンビア1名、オーストラリア1名、インド1名、ブータン1名、コンゴ民主共和国1名、グアテマラ1名、カンボジア1名：計9名)</p> |
| | 笹原未来准教授 | sasahara@u-fukui.ac.jp | 教職開発 教育心理学 障害児教育 | | | | |
| | 岸野麻衣准教授 | m-kisino@f-edu.u-fukui.ac.jp | 教職開発 幼児教育 | | | | |
| | 木村優准教授 | u-kimura@u-fukui.ac.jp | 教職開発 教育方法学 心理・教育学 | | | | |
| | 松木健一教授 | matsuki@f-edu.u-fukui.ac.jp | 教職開発 カウンセリング | | | | |

◇研修内容、受入可能人数、資格及び条件など

| 受入研究科等名 | 教育学研究科 | | | | 使用言語 | 受入可能数 | 当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数) |
|---------|-------------------------|--|--------------------|---------------------------|--------|-------|---|
| コースコード | 教員名 | メールアドレス | 分野 | 研修の内容 | | | |
| 20002 | 高山善行教授 | ytakayam@f-edu.u-fukui.ac.jp | 国語教育 | 日本語の文法 | 日本語 | 1名 | 受入れ分野に興味、関心があること |
| 20003 | 松友一雄教授 | jle-labo@u-fukui.ac.jp | 国語教育 | 母国語教授法 | 英語、日本語 | 1名 | 受入れ分野に興味、関心があること |
| 20004 | 伊達正起教授 | mdate@f-edu.u-fukui.ac.jp | 英語教育 | 外国語としての英語教授法の理論と実践 | 英語、日本語 | 2名 | ・小学校、中学、高校での教師経験があること ・英語でのコミュニケーションが可能なこと (ラオス1名、ルーマニア1名、ウズベキスタン1名、チリ1名、カンボジア2名、フィリピン1名、ブータン1名、サウジアラビア1名、：計9名) |
| 20005 | 栗原一嘉教授 | kuri@u-fukui.ac.jp | 物理学 理科教育 | 物理教育に関する調査・研究 | 英語、日本語 | 2名 | 英語が堪能なこと (ミャンマー1名、リトアニア1名、ブータン1名 ：計3名) |
| 20006 | 大山利夫教授 | ooyamat@u-fukui.ac.jp | 生物学 理科教育 | 生物教育に関する調査・研究 | 英語、日本語 | 1名 | 英語が堪能なこと (フィリピン1名、インドネシア1名：計2名) |
| 20007 | 山本博文教授 | yamamoto@f-edu.u-fukui.ac.jp | 地質学 社会科教育 | 教科専門の「地質学分野」の指導 | 英語、日本語 | 1名 | 研究を行う上で十分な英語及び日本語の能力があること |
| 20008 | 三好雅也准教授 | miyoshim@f-edu.u-fukui.ac.jp | 地質学 地学 社会科教育 | 教科専門の「地質・岩石分野」の指導、地学教材開発 | 英語、日本語 | 1名 | 研究を行う上で十分な英語及び日本語の能力があること |
| 20009 | 山田吉英准教授 | yamada-y@u-fukui.ac.jp | 物理学 理科教育 | PER(物理教育研究)アクティブ・ラーニングの研究 | 英語、日本語 | 1名 | ・英語が堪能なこと ・受入れ分野に興味関心があること |
| 20010 | 濱口由美教授 | yuming@u-fukui.ac.jp | 美術教育 | 美術鑑賞教育 初等美術科教育 | 英語、日本語 | 1名 | 受入れ分野に興味、関心があること |
| 20011 | 塚本充教授 | tukamoto@f-edu.u-fukui.ac.jp | 計算機科学 技術教育 | コンピュータネットワーク、コンピュータを用いた教育 | 英語、日本語 | 1名 | 研究を行う上で十分な英語の能力があること |
| 20012 | 門井直哉教授 | nkadoi@f-edu.u-fukui.ac.jp | 人文地理学 | 人文地理学に関する指導 | 英語、日本語 | 1名 | 研究を行う上で十分な英語の能力があること |
| 20013 | 伊藤勇教授 | isitoh@f-edu.u-fukui.ac.jp | 社会学 | 農村調査の指導 | 英語、日本語 | 1名 | 英語が堪能なこと |

| 受入研究科等名 | 教育学研究科 | | | | | | |
|---------|-------------------------|--|------------------|----------------------------------|-------------|-------|---|
| コースコード | 教員名 | メールアドレス | 分野 | 研修の内容 | 使用言語 | 受入可能数 | 当該教員が留学生を受け入れるにあたっての条件(語学能力、専門能力等)、受入実績(過去5年間の受入国、人数) |
| 20014 | 月原敏博教授 | ttukihar@u-fukui.ac.jp | 人文地理学 | 人文地理学、地域研究 | 英語、日本語 | 1名 | 英語または日本語が堪能なこと |
| 20015 | 井上博行准教授 | inoue@f-edu.u-fukui.ac.jp | 計算機科学 知能システム学 | ファジィ理論・進化的計算を用いた知能システム・感性システムの開発 | 英語、日本語 | 1名 | 研究を行う上で十分な英語の能力があること |
| 20016 | 永井崇弘准教授 | tnagai@f-edu.u-fukui.ac.jp | 中国古典学 | 18-20世紀における中国語 | 中国語、 日本語 | 1名 | 受入れ分野に興味、関心があること |
| 20017 | 粟原知子講師 | tawahara@u-fukui.ac.jp | 計画・建設学 環境学 | 子どもの遊び環境、住環境 | 英語、日本語 | 1名 | 受入れ分野に興味、関心があること 日本語の能力があることが望ましい |